

—いわき市—

市道内郷・平線「堀坂トンネル」開通

1. はじめに

いわき市は、福島県の東南端に位置し、南は茨城県、東は太平洋に面しており、寒暖の差が比較的小ない穏やかな気候に恵まれている。

本路線は、いわき市平、内郷、常磐の各拠点地区を結ぶ、都市圏の主要幹線道路ネットワークを形成するものであり、拠点間の移動性向上はもとより、慢性的な交通渋滞箇所である旧一般国道6号一の坪交差点の渋滞緩和、さらには、交通安全プログラムに位置付けられている通学路の安全確保のため、整備を行ったものである。

2. 事業概要

延長：L=500.0m（うち、トンネル延長289m）

幅員：W=11.5m（暫定2車線整備時）

トンネル幅員W=11.75m

道路規格：4種1級

設計速度：60km/h

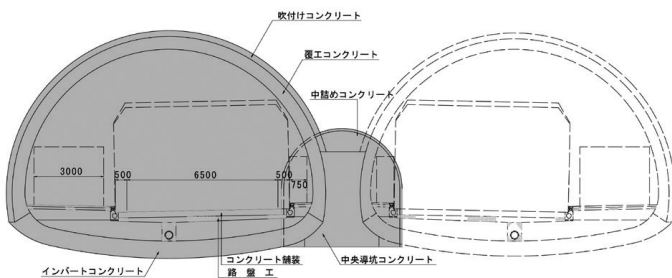
計画交通量：17,600台/日

総事業費：約32億円（うちトンネル部25億円）

掘削工法：NATM中央導坑先進上半先進工法

事業期間：平成18年度～平成29年度

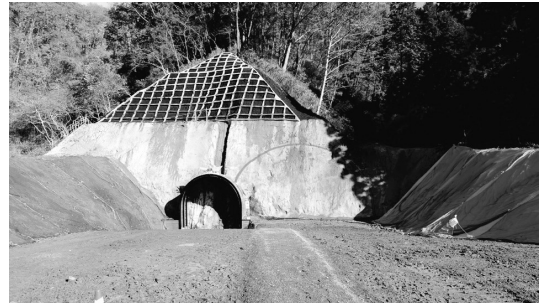
（トンネル工事：平成27年6月～平成29年8月）



標準断面図（左側が今回暫定施工）

3. 施工にあたって

本路線は都市計画道路に位置付けされており、将来の4車線化に備え、本事業では将来上り線となる東側のトンネル建設を行って暫定2車線での供用とし、将来西側にもう一本のトンネルを建設するため、トンネルの構造については、めがねトンネルの形状



先進導坑掘削前の様子（右側が本坑）

となるよう、トンネルの中心に隔壁を設け、上下線の近接施工を可能とした設計となっている。

4. 開通にあたって

平成30年3月28日、開通式を開催した。

本トンネルの銘板は、書家の金澤翔子氏に揮毫していただいた書を元に、力強く躍動感のある原書のイメージを損なわないよう、トンネル銘板としては珍しいステンレス切り文字により作成した。

また、いわき総合高等学校家庭クラブフラチームの皆さんによるフラダンスの後、清水市長らがテープカット及びくす玉開披を行い、開通を祝った。



開通式の様子

5. おわりに

一の坪交差点の渋滞については、県内のラジオ渋滞情報でも毎日のようにとり上げられていた。開通後は明らかにその回数が減り、一定の効果が出ているものとみられる。本事業を通して得た経験を今後も業務に活かしていきたい。

（前いわき市 土木部 土木課 佐藤 佑介）